

豊川流域 上下水道広域連携協議会（仮称）準備会

愛知県知事挨拶（概要）

- 上下水道事業を取り巻く環境は、料金収入の減少や人材不足など、今後も厳しい状況が続いていく見込み。
- 東三河地域の人口も 2050 年にはピーク時の 8 割を下回る見通し。
- 強靱で持続可能な上下水道サービスの提供を実現していくためには、上下水道事業の一本化による効率的な運用が必要である。
- 西三河地域に続いて東三河地域でも、地域特有の課題を踏まえつつスピード感をもって協議会設立に向けた基本方針案を取りまとめていく。
- 県内全域への展開を見据えて尾張地域にも働きかけている。
- 上下水道一本化は全国初の画期的な取り組みであり、愛知が先頭となってこの先進的な取り組みを全国に発信していきたい。